

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート(2次評価シート)

(4) 評価実施年度	平成 19 年度
(5) 評価責任者職名	産業振興部長
(6) 評価責任者氏名	半田 泰士
(7) 評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長

(1) 政策	コード 20	名称 (1)地域資源を活かした活力あるまちづくり
(2) 基本施策	コード 44	名称 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する
(3) 生活課題	44	観光客が増えている

(9) 継続・新規 (19.20.21.22)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当課名	(12) 事業費(千円)			(13) 投入人員 (人)	主な成果(新規事業の場合は目標)			1次評価結果							
					H18 決算額	H19 予算額・ 補正要求額	H20 要求見込額		(14) 指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
										(15) 17年度	(16) 18年度			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		
継続	726-4	観光振興事業(語り部の育成)	160300	観光振興課	866	857	857	0.1	語り部の登録者数	26	45	人		4	3	4	4	A	現状維持
継続	726-2	観光振興事業(情報発信案内事業)	160300	観光振興課	28,501	33,978	33,978	0.5	年間(暦年)の観光入込客数	428,769	444,365	人		4	4	4	3	A	現状維持
継続	726-1	観光振興事業(イベント等の開催)	160300	観光振興課	22,900	19,000	18,300	2.0	忍者衣装変身者数	6,403	6,646	人		4	4	4	2	A	現状維持
継続	726-5	観光振興事業(広域観光協議会等への参画)	160300	観光振興課	13,866	10,408	15,288	1.4	年間(暦年)の観光入込客数	428,769	444,365	人		4	3	4	3	A	現状維持
継続	726-3	観光振興事業(施設の指定管理)	160300	観光振興課	16,437	16,440	16,440	0.2	指定管理3施設の観光入込客数	53,025	52,653	人		4	3	4	2	A	現状維持
継続	0727	観光振興経費	553500	伊賀産業建設課	6,956	6,476	6,476	0.3	イベント集客数	15,000	15,000	人		4	4	3	3	A	現状維持
継続	0728	観光振興経費	603500	鳥ヶ原産業建設課	7,020	6,720	6,420	0.6	観光入込客数	393,945	483,149	人		4	4	4	3	A	現状維持
継続	0729	観光振興経費	653500	阿山産業建設課	8,968	8,547	8,367	0.7	観光入込客数	582,989	592,445	人		4	3	4	3	A	現状維持
継続	0730	観光振興経費	703500	大山田産業建設課	5,763	5,449	5,035	0.2	観光入込客数	344,949	320,826	人		4	4	3	3	A	現状維持
継続	0731	観光振興費	753500	青山産業建設課	2,540	2,408	1,440	0.2	観光入込客数	557,840	517,000	人		4	3	2	2	B	変更

(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について	(33) その他の改革改善点について
無					1G	f		
無					1G	b		
無					2G	d		実施主体を見直す方向性で検討
無					3G	c		投入人員を見直す
無					3G	d		
無					4G	c		観光振興の主体は多様である方が望ましいが、一元化への期待があり、組織的調整を進めるものとし、広域連携によるPR活動を強化する方向で実施
無					4G	c		観光振興の主体は多様である方が望ましいが、一元化への期待があり、組織的調整を進めるものとし、広域連携によるPR活動を強化する方向で実施
無					4G	c		観光振興の主体は多様である方が望ましいが、一元化への期待があり、組織的調整を進めるものとし、広域連携によるPR活動を強化する方向で実施
無					4G	c		観光振興の主体は多様である方が望ましいが、一元化への期待があり、組織的調整を進めるものとし、広域連携によるPR活動を強化する方向で実施
無					4G	c		観光振興の主体は多様である方が望ましいが、一元化への期待があり、組織的調整を進めるものとし、広域連携によるPR活動を強化する方向で実施